

大高同窓会報

発行

千葉県立大多喜高等学校同窓会

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481
〒298-0216 TEL 0470-82-2621
URL
<http://www.chiba-c.ed.jp/otaki-h/>
E-mail otaki-h@chiba-c.ed.jp

印刷 (株) サラト
姫路市北条宮の町172番地
TEL 079-284-1380



会長あいさつ

同窓会長 猿田 寿男 (昭42高)

大多喜高校同窓会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本会の運営にご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は、10月の総会をはじめ、千葉支部、岬支部及び勝浦支部の総会に出席させていただき、多くの同窓生の皆さんとともに、大多喜高校の現状と課題、また、会での今後の取り組み方針などについて十分に意見交換をさせていただくことができました。

今年の入学式では、これからの学校生活への希望と期待に満ちた新入生の姿に接し、私の高校時代に思いを馳せるとともに、新1年生の皆さんと同じく、私もまた新年度を新しい気持ちで頑張っていこうという思いになりました。新入生の皆さんには、将来の目標を持ち、いろいろなことを学び経験し、充実した学校生活を送られますようお祈りいたします。

また、在校生の皆さんにおかれましても、文武両道にご活躍されておりますことを本会としても誇りに思います。多くの生徒の皆さんが部活動に所属し、運動部・文化部ともにそれぞれの分野で才能を発揮されるとともに、卒業後の進路においても、目標とされる学校などに進学されていることと思います。

これも、皆さんの日々の努力の成果と、一人一人に親身に寄り添い、情熱を持って指導にあたられている教員の皆さんのおかげであると思っております。

そして、大高生にとっては欠かすことのできない

地域の足であるいすみ鉄道の存続に向けたサポートなど、社会貢献活動にもご尽力いただき敬意と感謝を申し上げます。

今、少子高齢化や人口減少が著しく進行しており、高等学校の再編成など、学校教育に関しても今後様々な問題が発生してくることが予想されます。

伝統校といえども、創意工夫を続け、より多くの生徒に魅力ある大多喜高校への入学を希望してもらえるように、大多喜高校を将来まで残していけるよう取り組んでいかなければなりません。特に、いすみ鉄道の存続が危機的な状況にあることから是非同窓会会員の皆さんの熱きご支援をお願いいたします。

就職・結婚などで地元を離れて暮らしている卒業生の皆さんにおかれましても、この会報などを通して母校の近況を知っていただけますとともに、是非同窓会の開催や、総会へも出席いただけますと大変心強い限りです。

大多喜高校は来年創立120周年の新たな節目の年を迎えます。伝統ある大多喜高校の更なる発展に向けて、皆で力を合わせて共に頑張っていきましょう。

結びに、近藤校長先生をはじめ、諸先生方の教育に対する情熱に敬意と感謝を申し上げますとともに、母校の一層の発展ならびに皆様のご健勝とご多幸、ご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



部活動ガイドラインと働き方改革

校長 近藤 克之

同窓会の皆様には日ごろから本校の教育活動にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、平成30年3月、スポーツ庁から「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が公表されました。これは中学校を対象としていますが、高校も準用することとされています。文化部活動のガイドラインも現在文化庁が策定中です。このガイドラインの概要と、これを受けて県、学校、各

部活の今後の対応について説明します。

国のガイドラインは、「活動時間が長いほど外傷・障害の発生率が高く、特に週に16時間以上でより高くなる」、「週あたり活動時間が【年齢×1時間】より多い場合は重いスポーツ障害が発生する可能性が高い」、「疲労骨折で来院したアスリートのうち、71%が週6日以上活動していた」などの「オーバートレーニングに関する国際的な研究結果」や「スポーツ医・科学関係機関の提言」を基にジュニア期

におけるスポーツ活動時間等を示しています。これらを根拠にガイドラインでは、部活動の練習時間については、平日2時間程度、土日を含む休業日は3時間程度とし、これを超える場合もこの前後を短縮すること等により過度にならないように留意するとされています。休業日については、平日、週末にそれぞれ1日以上、少なくとも週に2日以上設けることを基準とし、週末の大会等に参加した場合は、他の日に休養日を振り替えることが求められています。そして、これらの取り組みを側面から支えるために、各中央競技団体が、効率的・効果的な科学的トレーニングの指導手引を作成・公開することとされています。

千葉県教育委員会は国のガイドラインに沿って、本県独自の「安全で充実した運動部活動のためのガイドライン」を公表しました。各校の校長は、この千葉県ガイドラインに沿って自校の「部活動活動方針」を策定し、さらに顧問が「各部の活動方針・毎月の活動計画・毎月の活動実績」を作成し、それら

をHPや文書などで生徒・保護者の皆様に周知することになる予定です。これらの作成にあたっては、大会前や季節により活動状況に差がある競技などについては、各競技や学校の状況に応じて工夫することができるようです。

本校でも、より科学的で効率的な練習方法やトレーニングの手法を取り入れることで、学習と部活動をうまく両立させて、本校が謳っている文武両道が生徒一人一人の中で成り立つように工夫・改善を進めてまいります。

昨今、学校はブラック企業と言われることが度々あります。県教育委員会では働き方改革推進拡大会議を開催するなど、学校における業務改善を進め、教職員の長時間勤務の改善に取り組んでいます。部活動の活動時間も働き方改革の一端を担っていると考えられますが、新たに顧問が作成・公表することになる活動計画書や活動実績書などが多忙化を促進させることがないように願っています。

同窓生の声

私の宝物

昭和52年卒業 菅野(渡邊)美佐子



『私の宝物は、この通帳です。』と話す、生徒達は一斉に笑いました。中学校の卒業式前に行われた学年集会の出来事です。生徒達はなぜ笑ったのでしょうか。確かにお金は大切ですが、それにしても通帳とは…と思ったのかもしれませんが。私は話を続けました。

私は、千葉県立大多喜高校を昭和52年に卒業し、福島大学に進み、縁があって宮城県の中学校の教師になりました。石巻市を中心に35年間勤めました。私の自宅は、海から数百メートル、渡波という所にあり、勤務校も自宅の近くにありました。そして、平凡だけど充実した日々を送っていました。

あの3月11日までは…。

その日、私は卒業式を終え、職員室にいました。午後2時46分、今まで経験した事のない激しい揺れ、終わったかと思う間もなく更に激しく長い地震が…。校庭に出た私が見たのは、黒く高い壁のような波。津波でした。命からがら逃げてきた150人ほどの地域の人達と校舎の3階でまんじりともせず長い夜を過ごしました。卒業式の服のまま。

2日後、腰までもある泥水と数々の流失物に阻まれながらも、自宅にやっと帰り着くと、津波は1階を突き抜けていました。食べる物も着る物もなく、2階でローソクを灯し生活しました。学校の再開のめども立ちませんでした。義母も生徒も保護者も犠牲になりました。全国の人々から助けられ、何とか生き延びて2ヶ月が経ちました。

そんな時です。通帳が届いたのは…。

通帳には「がんばれ美佐子の会」と書かれてありました。中を開くとたくさんの友達の名がありました。一人一人の名前を見て涙が止まりませんでした。ずっと張りつめていたものが一気にほぐれてきました。それは、私が家族や自宅・職場を失ったのを知った親友が友人達に声をかけてくれ、形になったものでした。一人一人の名を手でなぞり、友人達の顔と同時に思い出が浮かんできました。「通帳」は故郷の皆からの温かい励ましのメッセージとなりました。

これが私の一番の宝物です。

生徒達はシ〜ンとなって、私の話を真剣に聞いてくれました。震災から3年後、私の最後となった勤務校での事です。私は生徒に「卒業してバラバラになっても心はつながっている」という事を伝えたかったのです。

私は震災後、幾度か故郷に帰りました。故郷の空気は温かく、まとっている様々なものを剥ぎ取ってくれます。友人との語りも数十年前に戻してくれます。

懐かしい校舎、校庭、お城山、大井戸、弓道場、バレーボールに打ち込んだ体育館、合宿所、食堂の「長介」はまだあるのかなあ…。

最大の被災地（平成30年2月現在 死者・行方不明者3,876人）と言われた石巻は、様々な地域と人々から多大な支援をいただき少しずつ復興しています。街の様子は一変してしまいましたが、災害に強い街として新たな一歩を踏み出しています。我が家も自宅を再建し、当日勤務していた中学校もプレハブ校舎から6年目にしようやく内陸部に新設されました。

失ったものは取り戻せないし、後悔もたくさんあります。でも前に進むしかないのです。いえ、「前に進まなくては！」と思います。

現在、私は支援員として中学校で働いています。また、地域で行っている「子ども食堂」のお手伝いや、復興地の支援を目的にした「ツールド東北」という自転車イベントでは、民泊を毎年引き受けています。更に、英語の勉強をして、石巻にボランティアでいらした外国人の方々と交流を行っています。

この前に進む力は、故郷の皆さんからいただいたものです。困難な事に出会った時、千葉で仲間が応援してくれていると思うと力が湧いてきます。元気になって、また千葉を訪ねたいと思います。そして皆さんが応援団でいてくれる様に、私も大多喜の応援団であり続けたいと思っています。今までありがとうございました。

私の宝物の大多喜高校の皆さんへ



菅野(渡邊)美佐子

S34生 59歳 中学校支援員

夷隅町立国吉小、国吉中

S49 大多喜高校入学

S52 卒業(バレーボール部所属)

S52 福島大学教育学部入学

S56 宮城県の中学校体育教師となる

34年間勤め56歳で早期退職

現在に至る

支部・OB会だより

▶▶ 大多喜支部



大多喜支部は5月31日(木)、中央公民館におきまして飯島勝美後援会長、近藤克之校長先生を来賓にお迎えし、平成30年度大多喜支部総会を開催しました。

平成29年度事業報告及び決算報告、平成30年度事業計画(案)及び予算(案)について承認をされました。事業計画(案)では特筆する事業内容はなく、前年同様とな

っております。

平成28年4月に発足されました「大多喜高等学校支援推進委員会」へ同窓会大多喜支部長として参加することとなり、年々受験生が減少する現状の中で歴史ある大多喜高校を存続する為の施策が論じられております。

同窓生の皆様の建設的なご意見、ご提案をお願いいたします。

大多喜支部長 野村隆夫

▶▶ 女子高支部

女子高支部では5月27日(日)に近藤校長先生をはじめ、山岸教頭先生、佐藤事務長、竹山同窓会事務局長をお迎えし、会員33名の出席を得て総会を開催しました。

近藤校長先生より本校2年目、自己紹介のあと女子高勤務時代のこと、卒業生との再会をとおしてふるさとに戻ってきたような気持ちでいるとのこと。

生徒を地域とともに、ていねいに育ててゆきたい。ご支援をお願いしたいとのお話がありました。

事務局竹山先生からは、入学選抜、進路指導、部活動の様子等、学校の現況について説明がありました。

総会では、29年度事業報告、決算の承認、30年度行事計画案、予算案については作成せず決算報告

のみとすることで審議、承認されました。

総会、懇親会のあと、児安敬子さん（独唱）矢澤弘子さん（伴奏）をお招きし、歌の会を実施しました。お二人が様々な場で活躍されているとのこと、すばらしい歌声と伴奏に耳を傾けました。やさしい指導により校歌をはじめ、なつかしい歌を皆で合唱し、なごやかなひとときをすごし散会しました。



▶▶ 経友会報告

平成30年6月19日、爽やかな初夏の季候の中、レイクウッド大多喜CCを会場に、第69回経友会ゴルフコンペを開催しました。参加者は、女性2名を含む14名でした。

参加者の賛同を得て、後輩の活躍に役立ててもらおう趣旨で、同窓会に2万円を寄付しました。

経友会は、当初、郷里を離れた同窓生が、母校の支援と会員相互の親睦を目的に発足しましたが、現在は同窓生であればどなたでも行事等への参加を歓迎いたします。

現在は、総会と年2回（春・秋開催）のゴルフコンペを実施しております。コンペは、例年母校近くのゴルフ場を会場に行われております。

経友会役員	
会長	引田紘一（S33年度卒）
幹事	秋田幸一（S46年度卒）
幹事	太田雅彦（S58年度卒）

▶▶ サッカー一部OB会

第17回近隣少年サッカー大会が開催

第17回大多喜町近隣少年サッカー大会が、12月16日（土）、大多喜町多目的広場で開催されました。夷隅・長生両郡市内から総勢16チームが参加し、熱戦の火ぶたが切られました。

今大会には、長南グリーンウエーブが初参加。大会を主催する千葉県立大多喜高等学校サッカー部OB会は、「この大会の人气が高まってきている。選手たちの友情の輪を広げることも大会の大きな目的の一つ。大いに歓迎したい。」とコメント。

試合は、過去7回の優勝を誇る大原FCが1回戦で西小FCにPK戦の結果2対3で敗退。西小FCは、続く2回戦で東FCに3対2で勝利しベスト4へ進みました。

年々確実に力をつけてきているもののまだ優勝の経験のない長者FCが1回戦で大多喜小に4対3（PK戦）で勝利、続く2回戦では御宿FCに1対0で勝利しベスト4へ。一方別のサイドからは、茂原SCが浪花小、勝浦FCを破りベスト4へ。また上野FCが東海小、夷隅小FCに勝利しベスト4へ進みました。ど

このチームも勝てば初優勝となる4強の戦いは、長者FCが西小FCを6対0で制し、また上野FCが茂原SCに2対0で競り勝ち、両チームによる決勝戦となりました。

お互いに一步も譲らない試合展開に、時間内では決着がつかずPK戦へともつれ込みました。

大きな声援が沸き起こる会場で、各選手は緊張した面持ちで1蹴勝負。確実にゴールに蹴りこんだ長者FCが6対5で熱戦を制し、見事初優勝に輝きました。

また3位決定戦では、西小FCが1対2で茂原SCに敗れ、入賞は逃したものの王者大原FCを1回戦で破るなど大活躍が目立ちました。

【参加チーム】

長者FC・上野FC・茂原SC・西小FC・東FC・御宿FC・勝浦FC・夷隅小FC・古沢小・浪花小・千町小・東海小・大原FC・太東FC・大多喜小・長南グリーンウエーブ

▶▶ 大原支部

大原支部では、下記の通り今年度の支部総会を実施致します。（尚、大原支部の会員とは、旧大原町に居住の同窓生が対象となります。）



- 1、期 日 平成30年10月13日（土）
18時より
- 2、場 所 蕎麦処 山長（大原国道沿い）
大原9536番地
電話（0470-62-3137）

- 3、会費 4,000円
- 4、出席連絡 10月6日(土)までに
幹事 新井洋一 (090-7566-0351)
へ連絡をお願い致します。

大原支部と致しましては、より多くの支部同窓生の参加を希望しておりますが、経費節約のため、同窓会報よっての連絡となることをお許しください。

▶▶ 岬支部

平成30年度同窓会岬支部総会・懇親会のお知らせ

- 日時 平成30年10月20日(土)
午後6時から
- 場所 ひかり寿司 いすみ市岬町椎木1258
TEL 0470-87-5150
- 総会 平成29年度会計報告、その他議事、
母校からの近況報告(生徒の活躍等)
- 懇親会 総会終了後 会費6,000円
※お問い合わせ、お申し込みは、下記までお願い
致します。
- 連絡先
TEL 090-4831-1986 矢代 一秀 (高21回 昭44)
TEL 090-5334-3011 浅野 友之 (高32回 昭55)

平成29年度同窓会岬支部総会は、猿田寿男同窓会長、母校から近藤克之校長先生、事務局から竹山亮宏先生をお迎えし、支部会員22名で開催しました。

平成28年度会計報告、母校からの近況報告、母校支援について提案があり、すべての議案が満場一致で承認されました。

懇親会は、年代の違う会員同士が親しく言葉を交わし、猿田同窓会長を囲み母校を取り巻く社会情勢や、近藤校長先生、竹山先生との会話で母校に対する理解を深めることができました。

今回出席の皆様より3万円の母校支援金を拠出していただきました。総会は、盛大に行われ母校のさらなる発展と、会員の繁栄を祈念し声高らかに万歳三唱し閉会しました。

平成28年度 同窓会決算報告書

【一般会計】

収入総額 5,468,896 円
支出総額 2,484,787 円
差引残額 2,984,109 円 (次年度へ繰越)

収入の部 単位：円

科目	予算額	決算額	増減額	説明
繰越金	3,125,273	3,125,273	0	前年度繰越金
入会金	810,000	810,000	0	5,000円×162名
賛助金	1,500,000	1,416,490	△ 83,510	同窓会報発行賛助金
雑収入	327	117,133	116,806	寄付金、預金利息、記念誌売り上げ
計	5,435,600	5,468,896	33,296	

支出の部 単位：円

科目	予算額	決算額	残 額	説明
会議費	250,000	130,682	119,318	総会補助、役員会議費
運営費	150,000	43,112	106,888	事務費、通信費
活動費	600,000	434,360	165,640	支部活動費、旅費等
広報費	2,000,000	1,876,633	123,367	同窓会報発行代
予備費	2,435,600	0	2,435,600	
計	5,435,600	2,484,787	2,950,813	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。
平成29年9月8日(金)

監事 酒井太門 ㊟

監事 渡辺雅文 ㊟

【特別会計】

収入総額 1,795,113 円
支出総額 0 円
差引残額 1,795,113 円 (次年度へ繰越)

収入の部 単位：円

科目	予算額	決算額	増減額	説明
繰越金	1,795,092	1,795,092	0	前年度繰越金
繰入金	0	0	0	
雑収入	208	21	△ 187	預金利息
計	1,795,300	1,795,113	△ 187	

支出の部 単位：円

科目	予算額	決算額	残 額	説明
繰出金	0	0	0	
予備費	1,795,300	0	1,795,300	
計	1,795,300	0	1,795,300	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。
平成29年9月8日(金)

監事 酒井太門 ㊟

監事 渡辺雅文 ㊟



部活動状況

平成30年 第42回全国高等学校総合文化祭

美術・工芸部門

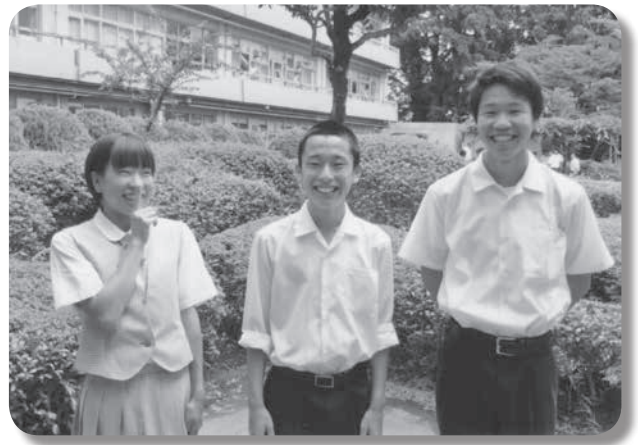
長崎 陽大 (3 A) (御宿中出身)
太田 百香 (3 D) (岬中出身)



千葉県陸上競技選手権大会

男子1500m 第5位 関 将太郎 (3 B) (北中出身)
男子3000m障害 第5位 吉田 壮志 (3 D) (国吉中出身)
女子3000m障害 第5位 鈴木 瑞生 (3 B) (国吉中出身)

第91回関東陸上競技選手権大会出場



体 育 系	男	女	合計
柔 道	10	3	13
剣 道	12	9	21
陸 上 競 技	23	19	42
弓 道	18	16	34
野 球	39	3	42
ソフトテニス	14	12	26
バレーボール	8	12	20
バスケットボール	7	12	19
サッカー	19	9	28
卓 球	15	6	21

文 化 系	男	女	合計
生 物	14	1	15
美 術	3	15	18
書 道	2	8	10
マンドリン・ギター	0	25	25
演 劇	4	2	6
英 語	5	4	9
吹 奏 楽	6	29	35
茶 道	7	16	23
全 合 計	206	201	407

平成29年度進路状況報告

進路指導主事 森 裕香

平成29年度進路指導を振り返る

近年、生徒の進路希望は多様化しており、進学の内容も、4年制大学から専門学校まで、また、分野に関しても実に様々である。さらに入試も一般入試・推薦入試・AO入試とあり、個々にあった形態を選択し、進路決定を目指すこととなる。

大学に関しては、私立大への進学は72名であったが、昨年度は都内私大定員数厳格化の影響もあってか、一般受験で苦戦を強いられる傾向にあった。国公立大への合格・進学も2名にとどまる結果となったが、今後は視野を広げ、首都圏に限らず、地方の大学にも目を向けた学校選択の方向も検討していく余地があると感じる。

就職に関しては、民間は希望者が少なく4名のみ。公務員は早期からの準備・対策により、のべ10名の合格となった。特に、大多喜町役場に3名の就職が叶ったことは大変喜ばしい結果であった。

大・國學院大・東邦大・駒澤大・日体大・帝京大・千葉工大・淑徳大・目白大・大妻女子短期大・千葉敬愛短期大・鶴舞看護専門・日大医学部附属看護専門・大多喜町役場・日本郵便株式会社

平成29年度卒業生主な進路先

〔四年制大学〕

都留文科大・千葉県立保健医療大・植草学園大・浦和
大・学習院大・亀田医療大・川村学園女子大・京都ノートルダム女子大・共立女子大・敬愛大・國學院大・国際医療福祉大・国際武道大・駒澤大・秀明大・淑徳大・城西国際大・上智大・湘南工科大・上武大・女子美術大・玉川大・千葉科学大・千葉経済大・千葉工業大・千葉商科大・帝京大・帝京平成大・東京情報大・東京成徳大・東京農業大・東都医療大・東邦大・新潟医療福祉大・日本体育大・日本大・武蔵大・明海大・明治大・明星大・目白大・立正大・和洋女子大 他

〔短期大学〕

植草学園短大・大妻女子短大・昭和学院短期大・創価女子短大・千葉敬愛短大・千葉経済短大・千葉明德短大・東京家政大学短大・日本歯科大学東京短大・日本大学短大 他

〔専門学校〕

千葉県立鶴舞専門・慈恵柏看護専門・千葉市立青葉看護専門・君津中央病院専門・千葉中央看護専門・日本大学医学部附属看護専門・船橋情報ビジネス専門・国際医療福祉専門・太陽歯科衛生士専門・日本工学院専門・大原医療秘書福祉専門・日本外国語専門・国際理工情報デザイン専門 他

〔公務員・民間就職〕

千葉県職員・大多喜町役場・千葉県警・市原市消防局・夷隅郡市広域市町村圏事務組合(消防)・航空自衛隊・日本郵便株式会社 他

昨年度の進路指導の概要

- (1) **進路説明会** 〈3年〉4月
外部講師等による分野別(大学・短大、看護医療、専門学校、公務員、民間就職)進路説明
- (2) **夏期・冬期実力養成講座・進学課外授業・公務員講座**
- (3) **大学見学会** 〈1年〉7月
明治大学(駿河台)・東京農業大学
- (4) **看護・介護・福祉体験、県庁インターンシップ、いすみ鉄道アテンダント体験、小中学校サマースクール学習支援ボランティア等**〈全学年〉7・8・11月
- (5) **勉強合宿** 〈1、2年〉8月
城西国際大学安房ラーニングセンター(鴨川市)にて
- (6) **保護者進路講演会** 11月
東城 勝氏 「進学のためのお金講座」
- (7) **1・2年大学出張講義体験会** 〈1、2年〉11月
國學院・文教大・専修大・聖徳大・城西国際大・関東学院大・千葉県立保健医療大・国際医療福祉大・順天堂大・千葉敬愛短期大学部
- (8) **進路講演会** 〈全学年〉12月
吉田 真也氏「新しい時代を生き抜くには」
- (9) **2年進路説明会** 12月
大学・短大・専門学校・民間就職・公務員の進路説明
- (10) **2年公務員説明会** 〈1、2年〉12月
外部講師による説明
- (11) **進路報告会** 〈1、2年〉3月 卒業生による体験談ほか
都留文科大・千葉県立保健医療大・玉川大・学習院

◇平成29年度卒業生進路状況

性別	大学		短大		専門 学校	就職			浪人 ・他	合計
	国公立	私立	国公立	私立		民間	公務員	他		
男	1	40	0	1	16	3	6	13	80	
女	1	32	0	13	27	1	3	2	79	
計	2	72	0	14	43	4	9	15	159	

事務局だより

●平成29年度末人事異動

《転出・御退職された先生方》

- 藤岡貴美子 H27～ 3年間
木更津高等学校
- 山本 郁夫 H29～ 1年間
大原高等学校 再任用
- 石井 修 H19～ 11年間
京葉高等学校
- 今井 智子 H20～ 10年間
茂原高等学校
- 森田 圭一 H23～ 7年間
教育庁教育振興部学習指導課
- 高橋 一浩 H23～ 7年間
大多喜高等学校 再任用
- 鈴木 基悦 H24～ 6年間
御退職
- 浅野 照久 H29～ 1年間
長狭高等学校 再任用
- 酒井 宣浩 H21～ 9年間
一宮商業高等学校
- 菅根 早苗 H27～ 3年間
御退職
- 長谷川由紀子 H27～ 3年間
鶴舞桜が丘高等学校

《着任された先生方》

- 佐藤由紀子 市原特別支援学校
- 平野 寿弥 九十九里高等学校
- 早坂ゆきえ 長生高等学校
- 尾形 保夫 大原高等学校 再任用
- 高橋 一浩 大多喜高等学校 再任用
- 加瀬慎之助 佐原白楊高等学校
- 鎌田 健一 安房高等学校 再任用
- 小河 富夢 新規採用
- 中村 俊夫 東金商業高等学校 再任用
- 行方 綾美 九十九里高等学校
- 戸倉 美和 長生特別支援学校

●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓会報の『同窓生の声』に寄稿いただける方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局へご連絡下さい。

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481 TEL 0470-82-2621
千葉県立大多喜高等学校同窓会

●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は欄サラトにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外の使用は一切行っておりませんのでご承知ください。

●役員名簿

会 長	猿田 寿男 (昭42高)	
副 会 長	福山 悦男 (昭29高)	
	近藤 万芳 (昭32高)	
	太田 洋 (昭41高)	
	加藤 茂範 (昭45高)	
	中村美智子 (昭49女)	
監 事 (会計監査)	酒井 太門 (昭41高)	
	渡辺 雅文 (昭43高)	
顧 問	齋藤 萬祐 (昭32高)	
	山口 登 (昭37高)	
支 部 長	大多喜	野村 隆夫 (昭41高)
	大 原	青柳 英俊 (昭38高)
	勝 浦	猿田 寿男 (昭42高)
	茂 原	村杉 仁 (昭31高)
	千 葉 (千葉大高会)	福山 悦男 (昭29高)
	岬	矢代 一秀 (昭44高)
	女子高	中村美智子 (昭49女)

【支部長は各支部で選出していただいています。】

ト 話 題

平成29年度

- ・本校による、いすみ鉄道への支援活動の取り組みがテレビやラジオ、雑誌などの多くのメディアに取り上げられました。今後も生徒会やいすみ鉄道対策委員会を中心に積極的に取り組んでいきます。
- ・一昨年度までは、いすみ鉄道に寄付を頂いた方には、いすみ鉄道よりお礼のはがきを郵送していましたが、29年度からは、はがきは郵送せず、翌年の寄付のご案内の文書に総額を記載させて頂くようになったそうです。

平成30年度

- ・経友会の皆様より20,000円の寄付を頂きました。ありがとうございました。

**平成30年度
同窓会総会・懇親会のお知らせ**

日時 **10月28日(日)** 午前11時20分～

場所 勝浦ホテル三日月

会費 男性 8,000円 女性 5,000円

お問い合わせ、お申し込みは、
下記までお願い致します。

TEL 0470-82-2621
(大多喜高校内・同窓会事務局)